

【奨励賞】

「想いと歴史」

網走市立呼人中学校

1年 熊坂 みのり

私は、北方領土に住んでいた人たちを基に作られたアニメ、『ジョバンニの島』を見ました。これは、北方領土の色丹島に住んでいた人々と、ロシア兵との物語です。私は『ジョバンニの島』を見て、最初にソ連の兵が来た時の苦しみや、家族や友達を失ったときの悲しみは、忘れてはいけないものだと思います。そして、樺太での生活で助け合った事や、ロシア人と仲良くなった時、別れた家族と再会した時は、人の温かさを感じました。そしてやっと日本に戻って来た時は、嬉しさが強く伝わってきました。私は、その時の出来事や感情を忘れずに、北方領土の事をもっとみんなに知ってもらいたいな、と思いました。

次に、実際に北方領土に住んでいた語り部さんから話を聞きました。語り部さんは、六・七歳のころの記憶を鮮明に覚えていて、それほど怖くて、印象深かった出来事だったのだな、と感じました。そして、移動手段は、歩くか、馬しかないと聞いて、時間がかかるし、とてもつかれそうで大変だなと思いました。行き先も伝えられないまま、樺太に行って、不安だった中、約一か月ほど、助け合って生活していて、いつ帰れるのかわからないまま生活するのは、辛かっただろうな、と思いました。そして、やっと日本に戻れた時、知らない人とも喜びを分かち合ったと聞いてびっくりしました。それほど嬉しかったんだな、と思いました。

私は、『ジョバンニの島』を見たり、語り部さんの話を聞いて、急にソ連の兵が来た時の苦しみ、悲しみ、樺太で生活していた時の不安、そして日本に帰ってきた時の安心感、喜び。これをとても感じる事ができました。北方領土に住んでいた人たちが感じた事もいっしょに、北方領土の歴史について、みんなに知ってもらいたいです。そして、身近な北方領土の歴史について、知ることができて、良かったです。